

# 作業療法学研究の実施風景（2023.3）

2023年3月20日

作業療法学専攻学生は、3年から4年にかけて卒業研究として  
「作業療法学研究」を行います。



研究前に被検者に対して研究の説明をします。



環境（周囲の人の存在や作業内容）が、被検者の作業（タイピング成績・気分）に及ぼす影響を調べる研究です。

この学生は、「作業療法学研究」のなかで、どのような環境を設定すれば、対象者は自分の持つ力を十分に発揮して活動に取り組むことができるかについて、明らかにしようとしています。各々の学生は考えたテーマで研究に取り組み、4年時に学内発表会で発表します。「作業療法学研究」は、卒業後の大学院研究や臨床現場での研究に繋がる大事な最初の研究となります。